

2013年5月22日
矢崎エナジーシステム株式会社

日本初 レーン・ディパーチャー・ウォーニング機能を搭載した ドライブレコーダーを発売

矢崎エナジーシステム株式会社（社長：矢崎航、資本金：3億1,000万円、本社：東京都港区）は、画像認識によるレーン・ディパーチャー・ウォーニング（車線逸脱警告、ふらつき走行警告）機能（特許出願中）を日本で初めて搭載した『YAZAC-eye3（LDW）』を2013年6月初旬より全国一斉に発売します。

2010年11月に発売を開始した『YAZAC-eye3』は、これまでも長時間記録用SSD（Solid State Drive：フラッシュメモリドライブ）の搭載、デジタルタコグラフ機能の搭載、機能を絞り込んだ廉価版の追加等、機能強化を盛り込んだ積極的なマイナーチェンジを行ってきました。

『YAZAC-eye3（LDW）』は、単に画像を記録するだけの従来型ドライブレコーダーからコンセプトを進化させ、事故削減を実現する『予防安全』、『データ活用』をスローガンに掲げ、カメラの画像認識技術を活用したレーン・ディパーチャー・ウォーニング機能をドライブレコーダーとしては、日本で初めて搭載します。これにより既に搭載している『速度変化』による危険兆候検知を加えて『速度』と『画像』のW（ダブル）で危険兆候を自動検知し、警報する機能の開発に成功しました。当社は、事故の未然防止に役立つ本機能の追加にとどまらず、今後も『予防安全』の効果を追求し、運輸業界の事故削減に貢献してまいります。

今回追加するレーン・ディパーチャー・ウォーニング機能の最大の特長は、ドライブレコーダーのメインカメラによる画像認識です。従って、新規購入のお客様も、既に導入済のお客様も機器の追加は一切不要です。当社指定の販売店が『YAZAC-eye3（LDW）』に本体プログラムを更新、設定するだけでレーン・ディパーチャー・ウォーニング機能を利用できます。

レーン・ディパーチャー・ウォーニングの基本機能は、『車線逸脱警告』と『ふらつき走行警告』の二つです。『車線逸脱警告』は、ウィンカーを作動せずに車線を越えた場合、ドライバーに音声で警告します。『ふらつき走行警告』は、車線逸脱警報と同様、ウィンカーを作動せずに車線を越えたり戻ったりを3回繰り返した場合、ふらつき走行と検知してドライバーに音声警告します。

音声警告の他に、車線逸脱およびふらつき走行（以下、危険運転）の検知をイベントとして前後最大60秒の画像記録が可能です。ドライバーを撮影するオプションカメラを併用し、危険運転発生時の運転状況の画像記録を検証すれば、具体的な再発防止策を実施できます。

さらに危険運転発生時に、外部機器に信号を出力する機能もあります。この信号をバイブレーター等に接続すれば、音声に加えて振動でも警告し事故の予防効果を高められます。

また危険運転発生地点をハザードマップに登録すれば、道路環境、連続運転時間、時刻等、危険運転の発生要因が解析でき、より多彩な安全運行指導が実現します。

■『レーン・ディパーチャー・ウォーニング機能』の主な特長

1. 追加機器が不要

- ・ ドライブレコーダーのメインカメラが『画像記録』と『画像認識』の1台2役を担うため、画像認識用の機器の追加は一切不要です。

2. 車線逸脱をリアルタイムで警告

- ・ ウィンカーを作動せずに車線を越えた場合、ドライバーにリアルタイムに音声警告します。

3. ふらつき走行をリアルタイムで警告

- ・ ウィンカーを作動せずに車線逸脱を3回繰り返した場合、ふらつき運転と検知してドライバーにリアルタイムに音声警告します。

4. イベント画像記録が可能

- ・ 『車線逸脱』および、『ふらつき運転』が発生した場合、イベント画像として最大60秒の画像を記録できます。
- ・ イベント画像を記録することで解析ソフトへの保存、検索が短時間で行えます。

5. 外部信号出力機能

- ・ 『車線逸脱』および、『ふらつき運転』が発生した場合、外部に信号を出力できます。
- ・ 信号を振動に変換するバイブレーター等のオプション機器を接続すれば、音声に加えて振動でもドライバーに警告します。

6. ハザードマップ連携

- ・ 『車線逸脱』および、『ふらつき運転』が発生した場所を地図上に可視化できます。
- ・ 発生頻度および発生場所の傾向分析だけでなく、発生地点に登録すれば危険地帯接近時に音声で警告します。

7. 管理者への警告機能

- ・ 『車線逸脱』および、『ふらつき運転』が記録された運行カードを事務所のR/W（リーダーライター）に挿入すると、危険運転が記録されている旨の注意文が読取画面に表示され、危険運転を素早く把握できます。

■『YAZAC-eye3 (LDW)』の概要

1. 販売価格（消費税込み）

○LDW機能 10,500円（本体、取付費別）

本体価格は以下の通り

○YAZAC-eye3 本体 105,000円（取付費別）

○YAZAC-eye3T 本体 157,500円（取付費別）

○YAZAC-eye3 Lite 本体 73,500円（取付費別）

2. 発売日 : 2013年6月初旬

3. 初年度販売計画 : 10,000台/年

■画像認識機能のイメージ



注意) 上記画像の車線のブルーライン部分は、画像認識を分かり易く表現するために加工したイメージであり、実際の商品でこのような画像は出力されません。

■レーン・ディパーチャー・ウォーニング機能搭載の『YAZAC-eye 3 (LDW)』



※写真はYAZAC-eye 3 T

以上

この件に関するお問い合わせ先
 矢崎総業株式会社 広報部
 Tel. 055-965-3002
 Fax. 055-965-0450

製品に関するお問い合わせ先
 矢崎エナジーシステム株式会社
 計装事業部 企画部
 Tel. 0547-37-2601
 Fax. 0547-37-2355